

在マナウス日本国総領事館
平成27年度：対ブラジル草の根・人間の安全保障無償資金協力
竣工式

モアシル・アウヴェス養護施設障害者水中療法用プール改修計画

2016年7月15日、マナウス市モアシル・アウヴェス養護施設において、後藤修二総領事、ジョゼ・タルシジオ・フェイジョ・マシャド／トマス・デ・アキノ社会福祉法人会長、クラウデッチ・シアルリニ施設長、カチア・シュワイカージ／マナウス市教育局長らの出席の下、草の根・人間の安全保障無償資金協力案件「モアシル・アウヴェス養護施設障害者水中療法用プール改修計画」の竣工式が開催されました。

被供与団体： トマス・デ・アキノ社会福祉法人

竣工日：2016年7月15日

供与限度額：77,257米ドル

計画内容：本事業では、モアシル・アウヴェス養護施設が障害を持つ子どもに提供する水中療法に必要な施設の改修（水中療法用プールにスロープや屋根等の設置及び更衣室、トイレの整備）を行いました。現在水中療法を受ける子どもたち135名により質の高い水中療法の提供が可能となるとともに、通園により水中療法を希望している子どもたち205名の受け容れも可能となるため、実施後の裨益者数は340名まで増加します。草の根・人間の安全保障無償資金協力は、日本政府が行う政府開発援助（ODA）の一部として拠出されています。



竣工式の様子



屋内プールに改修（スロープも新設）



右は改修前のプールの様子